

「医療の質評価の 現状と課題」

東 尚弘 先生

東京大学大学院医学系研究科
公衆衛生学・健康医療政策学 教授

日 時 令和7年12月4日（木）
18:30～19:30

会 場 臨床大講堂

医学の急速な発展によって、人類はかつてなく健康的な生活をおくる可能性を手にいれました。しかし、社会と医療システムの複雑化のために、手にした知識と技術を活用できておらず、時には害を与えてしまうこともあります。新しい医療のあり方、患者本位の医療の質と安全を保証するシステムを探究し、実現に向けた取り組みをすすめることは、全ての医学研究者、医療者に期待されることです。

医療の質とは何か、どのように医療の質を測り、高めるかは、医療の質・安全学のみならず医療経済学、医療政策学の重要な課題です。東先生は、UCLA公衆衛生大学院、京都大学大学院、国立がん研究センターで医療の質、医療政策学を研究され、わが国における医療の質評価に関する第一人者です。今回は、医療の質と医療サービス研究についてお話いただける大変貴重な機会となっております。皆さまのご参加をお待ちしております。

主催：医療の質・安全学講座、医療の質・安全管理部、
多職種人材育成のための医療安全教育センター

お問合せ：医療の質・安全学講座 田中和美 kazumin@gunma-u.ac.jp